

2021年7月8日

報道関係者各位

農林中金バリューインベストメンツ株式会社

NVIC、22年春からの高校での金融教育必修化に向け、 金融教育プログラムの提供を本格化

第一弾として、ゼロ高等学院の基礎教養「マネーリテラシー」にて 投資教育プログラムの提供をスタート

農林中金バリューインベストメンツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯田博、以下「NVIC」)の「おおぶね」ファンドマネージャー奥野一成(NVIC CIO)がゼロ高等学院(東京都港区、学院長:内藤 賢司、以下、「ゼロ高」)の2学期基礎教養「マネーリテラシー」にて、投資教育のプログラムを2021年7月6日より開始いたしました。本件プログラムは今年3月にリリースした『15歳から学ぶお金の教養 先生、お金持ちになるにはどうしたらいいですか』(ダイヤモンド社)に準拠した内容になっており、奥野が登壇する4回のセッションに生徒の自主学習(課題の取り組み)やプレゼンテーションの共有を織り交ぜることで、単なる教科書的な「金融知識の習得」とは異なった、より実践的なプログラムとなっています。先生が一方向的に生徒に向けて講義をするのではなく、生徒同士で議論、進行が行われるようにデザインし、「主体的・対話的で深い学び」の提供を行うというゼロ高の教育方針に沿うものになっており、本件プログラムについても奥野と生徒によるインタラクティブな授業が展開される予定です。

初回講義終了後、生徒からは「時間のある高校生にとって一番の投資は自己投資であること、価値を感じる対象は人によって違うことなど、学びが多かった」、「お金というものの概念が全く変わりました。投資とは自分の今後の人生を豊かにするものであるなど本質的なことが聞けた」、「今やっていることも投資であるということが分かり元気が出た」等、非常に前向きな感想を頂きました。



本件取り組みの背景

NVIC 設立の目的として“価値に基づく資本配分を通じた経世済民の実現”～Quest for Value～を掲げており、①投資家、②投資先、および③社会・コミュニティへの価値提供をそれぞれ行っております。



本件は上記の③社会・コミュニティへの価値提供 に該当するものであり、“人材育成こそ最良の長期投資である”という信念の下、「投資」が日本で広く根付くよう、大学での特別講義や高校での特別授業を過去実施してまいりました(京都大学、東京大学、一橋大学、洛南高校、城北高校、N高等学校等)。特に京都大学においては 2014 年度から経済学部において、寄附講義「企業価値創造と評価」を開講。本講義は「企業価値」をキーワードとして、アカデミックな視点、実務的な視点から論点を整理し、企業価値創造と企業価値評価の実際の取り組みについて、企業経営者、運用者などの実務者が中心となってリレー方式で講義を行ないました。高校生向け授業に関しては、過去単発にて実施してきましたが、2022 年春からの高校での金融教育の必修化にむけて、改めてプログラムを開発し、その提供という観点では今回初めての取り組みとなります。真の投資教育とは決して一般的な知識の増強のみによって図れるものではございません。一般的な「金融教育」とは異なり、様々なワークを通じて体感しながら学ぶことに主眼を置いております。当プログラムを汎用的な内容にブラッシュアップさせながら、今後も他の学校も含めて継続的に実施していく方針です。当プログラムを通じて、価値を理解し、かつ自ら価値を創造することを意識して行動できる次世代の人材を育てていくことが、長期的に見て企業だけでなく社会全体の価値の増大につながっていくものであると考えています。

農林中金バリューインベストメンツ株式会社(NVIC) CIO 奥野 一成(おくの・かずしげ) コメント



本件取り組みは弊社の“人材育成こそ最良の長期投資である”という NVIC の経営方針に沿うものであり、今回投資教育のプログラムをゼロ高向けに提供するという大変貴重な機会を頂き、嬉しく思っています。株式投資という「狭義の投資」以前にまずは「広義の投資」を高校生の皆様に理解して頂き、自身の行動全てが「投資」であることや、高校生にとって一番貴重な「時間」という資産をどのように「価値」に結び付けていくかを学んでいただきたいと思います。更にはその「時間」がどのように「自分の夢」や「未来」に繋がっているのかを本質的に理解すべく、様々なワークを通じて体感できるプログラムになっています。今後も本件プログラムを定期的にアップデートしながら汎用的なプログラムとして各校に展開していく予定ですので是非ご期待ください。

「おおぶね」シリーズについて

NVIC が運用助言を行うファンド「おおぶね」シリーズは、成長を持続する世界経済の中で、長期的に価値を積み上げる企業を見極め、長期で投資することで、リスクを抑えながら複利の効果で資産を大きく増やすことを目指す投資信託です。機関投資家向けに高い実績を出してきた NVIC が世界中から成長を続ける「構造的に強靱な企業®」を見極めます。

米国に上場している企業への長期厳選投資により投資信託財産の中長期的成長を目指すアクティブファンド「農林中金<パートナーズ>長期厳選投資 おおぶね」のほか、日本企業の中から有望企業を選抜して投資を行う「農林中金<パートナーズ>おおぶね JAPAN(日本選抜)」、NVIC がこれまで選定してきた北米・欧州・日本の「構造的に強靱な企業®」の中から厳選した 20～30 銘柄に長期投資を行う「農林中金<パートナーズ>おおぶねグローバル(長期厳選)」があります。

※「構造的に強靱な企業®」は農林中金バリューインベストメンツ(NVIC)の登録商標です。

「農林中金<パートナーズ>長期厳選投資 おおぶね」概要

高い成長が期待できる米国上場企業の中から、さらに持続的に利益を生み出すと考えられる、「構造的に強靱な企業®」(20～30 社程度)を厳選し、長期投資を行います。

■特徴

1. 圧倒的な競争力を有する企業への長期厳選投資により投資信託財産の中長期的成長を目指すアクティブファンドです。
 2. 米国の上場株式を主要投資対象とします。
 3. 徹底した深い海外企業調査を通じて、①付加価値の高い産業、②圧倒的な競争優位性、③長期的な潮流の 3 つの基準を満たす「構造的に強靱な企業®」に長期厳選投資を行います。
 4. 組入外貨建資産については、原則として為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行いません。
 5. 農林中金バリューインベストメンツ(NVIC)が投資助言を行い、ポートフォリオを構築します。
- ※上記 1～5 の運用は、主として米国企業価値フォーカスマザーファンドにおいて行います。

■ 奥野一成(おくの・かずしげ) プロフィール

農林中金バリューインベストメンツ株式会社(NVIC)常務取締役兼最高投資責任者(CIO)。
日本における長期厳選投資のパイオニアであり、機関投資家向け投資において実績を積んだその運用哲学と手法をもとに個人向けにも「おおぶね」ファンドシリーズを展開。本業に加えて、「日本人をもっと豊かにしたい。」との思いから、本来の投資のあり方とその哲学、長期投資のコツ、優良企業の見極め方などを歴史的な背景や豊富な実例を交えながら幅広い層への啓蒙活動を行っており、著書に『教養としての投資』(ダイヤモンド社)、高校生と先生の対話形式でお金の仕組みを学ぶ『15 歳から学ぶお金の教養 先生、お金持ちになるにはどうしたらいいですか』(ダイヤモンド社)がある。また、2022 年から高校の授業に「投資」が組み込まれることを背景に、高等学校での投資教育講座で講師を務め、若者の金融リテラシー向上に貢献する活動に取り組む。1992 年京大法学部卒、ロンドンビジネススクール、ファイナンス学修士(Master in Finance)修了。日本長期信用銀行入行。長銀証券、UBS 証券を経て 2003 年に農林中央金庫入庫。2007 年より「長期厳選投

資ファンド」の運用を始める。2014年から現職。

経済産業省「サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会(SX研究会)」委員(2021年5月～)。経済産業省「サステナブルな企業価値創造に向けた対話の実質化検討会」委員(2019年11月～2020年8月)。

農林中金バリューインベストメンツ(NVIC)について

農林中金バリューインベストメンツ(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2811号 一般社団法人日本投資顧問業協会加入 一般社団法人投資信託協会加入)は、農林中金グループとして投資運用業を行っています。長期厳選投資の国内におけるパイオニアであり、2007年に農林中央金庫株式投資部にて長期厳選投資のための専担チームとしてスタートして以来、短期的な売り買いをする投資ではなく長期的に企業の株式を保有し続ける長期投資(売らない投資)を貫徹。2010年に機関投資家向けファンドに対する投資助言を開始して以降、米国株投資、投資教育への取組等、投資の世界を変えるべく様々なチャレンジを行ってきており、2017年からは、個人向け投資信託の運用・助言をスタートしました。

投資助言を行う「農林中金<パートナーズ>長期厳選投資 おおぶね」が日経トレンディ投信大賞2021(ミドルリスクミドルリターン部門)を受賞、「投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year 2020」で10位入賞。株式会社格付投資情報センター(R&I)による「R&Iファンド大賞2021」において、投資信託部門/北米株式コアで「最優秀ファンド賞」を受賞。

ゼロ高等学院について

事業家・投資家として活躍する堀江貴文氏の「学校教育を壊す(ディスラプトし、再構築する)」という発言をきっかけに発足した、民間の教育機関です。2020年9月7日に発売された堀江氏の著書『将来の夢なんか、いま叶えろ。』でも現代の教育のあり方や、若者の将来や自己実現について若者に訴えています。主宰の堀江氏はテクノロジーの進歩によって社会が急速に変容し続ける現代において、学校教育もアップデートしていくべきだという持論を掲げています。

ゼロ高は生徒のゼロをイチにするために、生徒と運営で「自分を知る」「やりたいを知る」「やりかたを知る」の3つのミッション達成を目指し、生徒が将来本当にやりたいことを見つけるためのサポートを実施しています。

また、広域性通信制高校の鹿島山北高等学校と教育連携をすることにより、生徒は高校卒業資格を取得することが可能です。校舎や時間割から開放された生徒に必要なのは、社会人に求められる「自己管理」や社会人として必要な「スキル」だと考え、それらをサポーターとともに日々追求しています。(URL: <https://zero-ko.com/>)

◀ NVIC に関するお問い合わせ先 ▶

農林中金バリューインベストメンツ株式会社 カスタマー&コーポレートリレーション部
長原(03-3580-2066 m-nagahara@nvic.co.jp)